

Date

県内経済 〈6月〉

概況

県内経済は、全体として回復の動きが足踏みしている

電子部品、木材の生産は前年を上回ったものの、機械金属は低迷が続いている。建設は、公共工事が前年を上回ったが、住宅着工は前年を下回った。個人消費は全体として回復の兆しがみられる。雇用情勢は弱い動きとなっている。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、民生機器や産業機械向けが好調なことから、2か月ぶりに前年を上回った。機械金属の生産額は、ウエイトの高い輸送機械で海外向けの不振による減少傾向が続き、16か月連続で前年を下回った。木材の生産量は、普通合板（5月）が6か月連続で前年を上回り、製材品も前年を大幅に上回った。公共工事請負額は、国、県等が増加し、2か月連続で前年を上回った。年度累計でも前年を上回った。地元大手（12社）の建設受注額は、官公庁工事、民間工事ともに大口工事があり、2か月連続で前年を上回った。

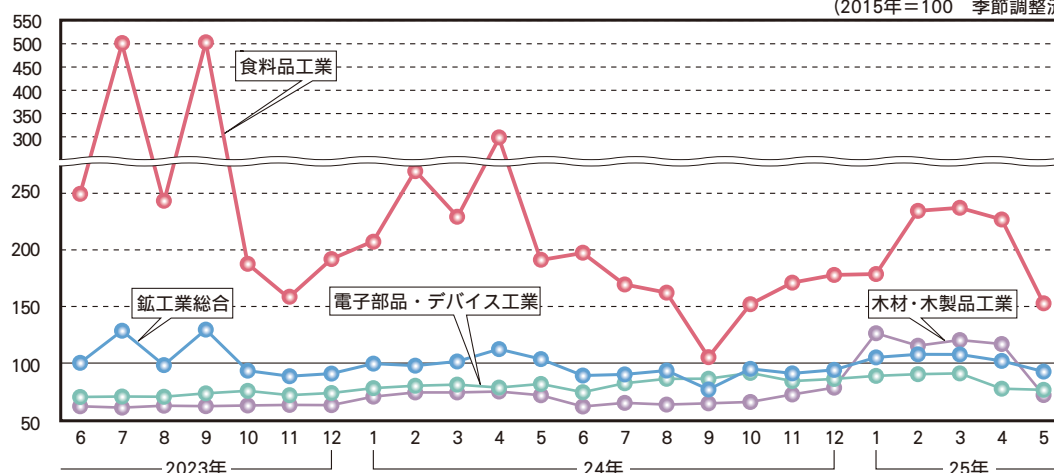
住宅着工は持家と貸家が大きく減少したことなどから、2か月ぶりに前年を下回った。個人消費は、新車乗用車販売台数が2か月連続で前年を下回ったが、小売店販売額（5月）は3か月連続で前年を上回るなど、全体として回復の兆しがみられる。

有効求人倍率は前月と同水準の1.20倍となった。新規求人数は前年比4.0%増と11か月ぶりに前年を上回った。事業主都合離職者数は前年比33.1%減と3か月連続で前年を下回った。

企業倒産件数は6件、負債総額は5億6,800万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2015年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」



電子部品

生産額、堅調に推移

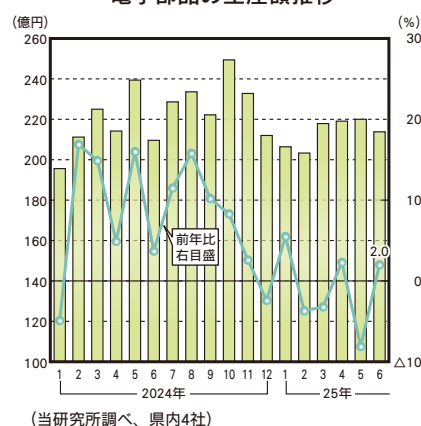
6月の生産額は前年比2.0%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

車載向けは電気自動車（EV）市場の低迷により伸び悩んでいるものの、民生機器向け、産業機械向けが好調なことから総体では堅調に推移している。

その他品目別では、液晶パネルは増勢を強めており、低迷が続いていた半導体素子も増加傾向にある。主力のセラミックコンデンサやコイルは緩やかながら減少傾向にある。

なお、4～6月期は前年同期比1.5%の減少、今年上半期は同1.1%の減少となった。

電子部品の生産額推移



機械金属

生産額、低迷続く

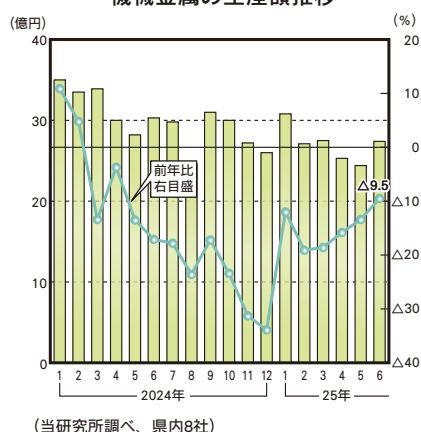
6月の生産額は前年比9.5%減となり、16か月連続で前年実績を下回った。

ウエイトの高い輸送機械は、海外向けの不振の影響が大きく減少傾向が続いている。その他民需関連では、産業機械は増勢を強めており、建機部品は回復してきている。金型は一進一退の動きとなっている。

公共工事関連では、橋梁・鉄骨は堅調に推移しているものの、水道部品は大幅減が続いている。

なお、4～6月期は前年同期比12.9%の減少、今年上半期は同14.8%の減少となった。

機械金属の生産額推移



木材業

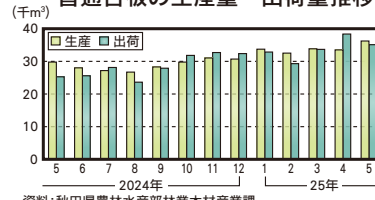
普通合板が6か月連続で前年比増加

新設住宅着工が中期的に低迷傾向にあることから、全国的には基調として木材・木製品の生産・出荷量の伸び悩みが続いているが、法令の改正に伴う住宅着工の一時的な増加の影響等から、本県では合板の供給増加が続いている。

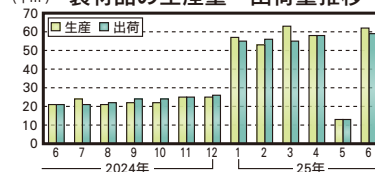
5月の普通合板は、建築基準法改正に伴う駆け込み需要による住宅着工増加などにより、生産量は前年比21.7%増、出荷量も同38.9%増といずれも6か月連続で前年を上回った。

製材品は、県北での大手製材工場稼働の影響等から、生産量が前年比195.2%増、出荷量が同181.0%増と、ともに前年を大幅に上回った。

普通合板の生産量・出荷量推移



製材品の生産量・出荷量推移

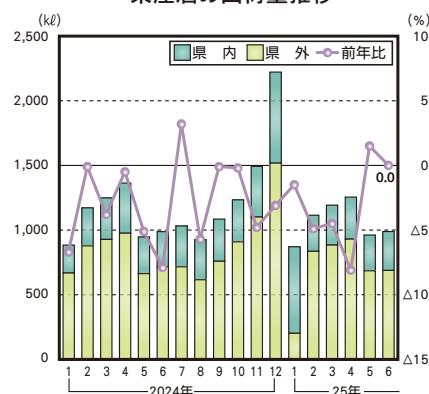


酒 造 業

出荷量、前年比横這い

6月の清酒出荷量は、前年比横這いとなった。出荷先別では、県外向けは物価上昇による節約志向の高まりなどから同4.1%減となったが、県内向けは低温多雨の影響でバック酒など家飲み需要が伸びたこと等から同11.0%増と前年を上回った。県外の主な出荷先別では、北海道が同13.9%増となったが、東京は同7.1%減、東北5県も同4.1%減となった。種別では、普通酒は同0.1%減とほぼ横這いとなり、特定名称酒は同0.2%増と僅かに前年を上回った。特定名称酒の内訳では、純米酒が同3.9%増となったものの、吟醸酒は同1.7%減、本醸造酒も同3.2%減と、ともに前年を下回った。

県産酒の出荷量推移



資料：秋田県酒造組合

建 設 業

公共工事 国、県等が増加し前年を上回る

6月の公共工事請負金額は、国、県等が増加し、総体では前年比65.0%増と2か月連続で前年を上回った。4月からの年度累計実績は、前年同期比19.1%増となった。

一方、当研究所調査による地元大手12社の6月の新規受注額は、前年比130.4%増の4,774百万円となり2か月連続で前年を上回った。うち官公庁工事は、河川災害対策等の大口工事があり、同130.8%増と前年を大幅に上回った。民間工事も、営業所建替等の大口工事があり、同128.8%増となった。4月からの年度累計実績は、前年同期比57.5%増となった。

公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区 分	6月	前年比	4～6月	前年同期比
件 数	286	20.2	801	3.0
請負金額	29,104	65.0	93,661	19.1

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区 分	6月	前年比	4～6月	前年同期比
官 公 庁	3,884	130.8	6,098	70.4
民 間	890	128.8	1,661	23.4
合 計	4,774	130.4	7,759	57.5

(当研究所調べ、県内12社)

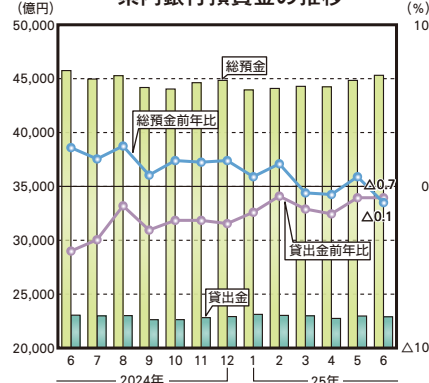
金 融

預金、貸出金とも前年比減少

6月末の県内銀行の預金は、前月末比473億円増加したものの、前年比では1.0%の減少となった。貸出金は、前月末比73億円減少し、前年比でも0.7%の減少となった。預金は2か月ぶりに、貸出金は23か月連続で前年を下回った。

6月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は6件(前年比横這い)、負債総額は5億6,800万円(同48.3%増)となった。倒産件数は、4か月ぶりに前月を下回ったが、6月単月では過去10年間で最多となり、例年を上回る水準が続いている。負債総額は3か月連続で前年同月を上回った。

県内銀行預貸金の推移



資料：秋田県銀行協会



住宅着工

着工戸数、2か月ぶりに前年比減少

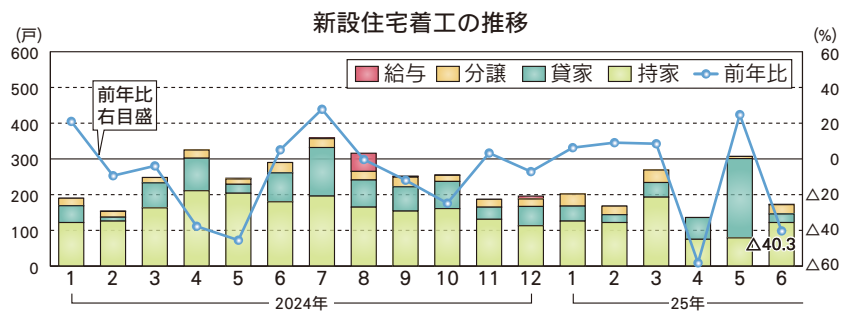
6月の県内新設住宅着工戸数は、173戸（前年比117戸減、40.3%減）であった。4月の建築物省エネ法改正を前に生じた駆け込み需要の反動により持家と貸家が大幅に減少したほか、分譲住宅も減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

利用関係別では、持家が122戸（前年比58戸減）、貸家が24戸（同57戸減）、分譲住宅が26戸（同3戸減）、給与住宅が1戸

（同1戸増）となった。

持家は3か月連続で前年を下回った。貸家は、秋田市、横手市などで減少し、2か月ぶりに前年を下回った。分譲住宅は3か月連続で前年を下回った。

地域別では、県北・県央・県南の全地域で前年を下回った。県北は持家と分譲住宅、県央と県南は持家と貸家の着工がそれぞれ減少した。



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向 (単位: 戸、%)				
区分	2025年6月	前年比	25年1~6月	前年比
県北	22	△51.1	178	△39.0
県央	110	△28.1	814	0.4
県南	41	△55.4	263	△24.9
合計	173	△40.3	1,255	△13.6

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

全体として回復の兆しがみられる

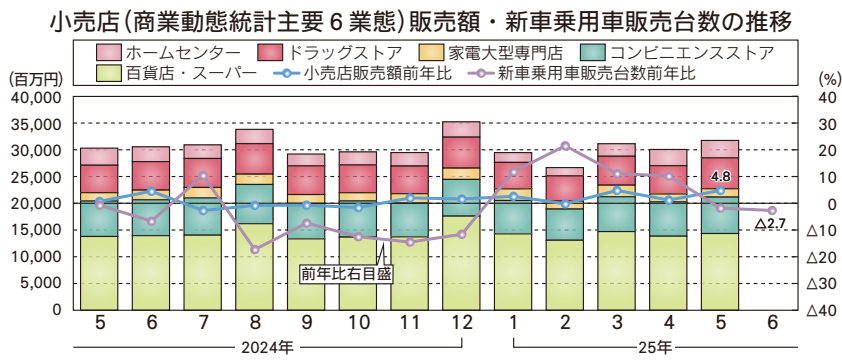
5月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比4.8%増となり、3か月連続で前年を上回った。

内訳をみると、ドラッグストア（前年比12.4%増）、百貨店・スーパー（同4.0%増）、コンビニエンスストア（同2.5%増）、ホームセンター（同2.1%増）、家電大型専門店（同0.9%増）とすべての業態で前年を上

回った。

6月の新車乗用車販売台数は、認証不正問題で停止していた車種の生産再開による反動増が一服したことなどから、前年比2.7%減と2か月連続で前年を下回った。

内訳をみると、登録車が同2.6%減と2か月連続で前年を下回ったほか、軽乗用車も同2.8%減と6か月ぶりに前年を下回った。



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

6月の新車乗用車販売台数 (単位: 台、%)		
区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,564	△2.7
登録車	1,472	△2.6
普通車	798	△9.5
小型車	609	6.7
輸入車	65	10.2
軽乗用車	1,092	△2.8

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標(前年比) (単位: %)				
区分	2025年3月	4月	5月	
①消費者物価指数	3.3	2.9	2.8	
②勤労者名目賃金	7.7	△1.4	△2.0	

資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

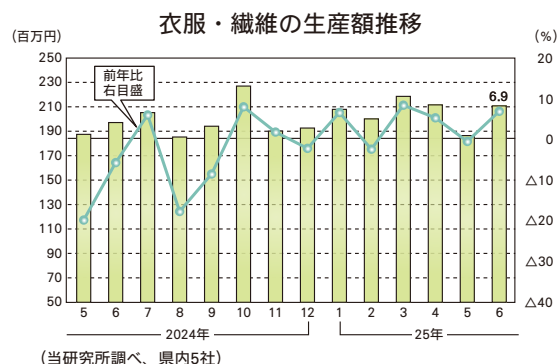
衣服・繊維

生産額、2か月ぶりに前年比増加

6月の生産額は、EC向け婦人服が増加したことなどから、前年比6.9%増と2か月ぶりに前年を上回った。

受注は、秋冬物が繁忙期に入ったことから、3か月ぶりに前年を上回った。

受注の小ロット化が進んでおり、採算に合った工賃確保に向けた交渉、生産体制の確立が急務となっている。



雇用

弱い動き

6月の有効求人倍率(季調値)は、前月と同水準の1.20倍となった。常用の内訳では、一般は同0.04ポイント上昇の1.37倍、パートは同横這いの0.69倍となった。

新規求人数は前年比4.0%増となり、11か月ぶりに前年を上回った。産業別にみると、製造業は同17.3%増となった。「木材・木製品」で減少したものの、「電子部品・デバイス・電子回路」で労働者派遣業を行う企業から派遣先の受注増にともない大幅に増加したほか、その他の業種でも二桁の増加率となった。非製造業は同2.5%増となった。「卸売、小売」「生活関連サービス、

娯楽」などで減少したものの、「サービス」で一部のコールセンターから受注増にともない増加したほか、「建設」でも慢性的な人手不足から増加した。

新規求職者数は前年比1.5%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。

事業主都合離職者数は前年比33.1%減となり、3か月連続で前年を下回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県北、県央、県南でいずれも増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.20倍、県央が1.10倍、県南が0.93倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

(単位:人、%)

区分	2025年5月	前年比		6月	前年比
		2024年5月	2024年5月		2024年5月
新規求人計	6,462	△7.1	7,189	4.0	
製造業	663	△13.8	846	17.3	
食料品	108	△22.3	153	10.1	
繊維	75	△35.3	130	25.0	
木材・木製品	16	△64.4	52	△34.2	
金属製品	59	7.3	77	13.2	
電子部品・デバイス・電子回路	86	△17.3	97	90.2	
電気機械器具	41	46.4	40	25.0	
非製造業	5,799	△6.3	6,343	2.5	
建設	958	△1.5	1,222	2.5	
運輸、郵便	234	△4.9	326	13.2	
卸売、小売	804	△21.1	813	△12.6	
宿泊、飲食サービス	595	26.6	500	3.1	
生活関連サービス、娯楽	203	△29.5	199	△14.2	
教育、学習支援	89	36.9	85	△9.6	
医療、福祉	1,297	△11.8	1,473	△1.4	
サービス	979	△0.6	987	16.9	
新規求職者数	3,993	△0.6	3,199	1.5	
有効求職者数	17,371	1.7	16,773	1.7	

資料:秋田労働局職業安定課
(注)臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

(単位:倍、人、%)

区分	2025年3月	4月	5月	6月
有効求人倍率	1.35	1.31	1.33	1.37
パートタイム	0.90	0.74	0.69	0.69
全数(季調値)	1.25	1.23	1.20	1.20
事業主都合離職者数	204	383	153	119
前年比	39.7	△1.3	△40.5	△33.1

6月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

(単位:人、%、倍、ポイント)

区分	新規求人数		有効求人倍率	
	2025年6月	前年比	2025年6月	前月比
県北	1,736	1.8	1.20	0.07
県央	3,233	4.4	1.10	0.01
県南	1,468	6.5	0.93	0.02
合計	6,437	4.2	1.08	0.03

(注)臨時・季節を除く